

JICA・グローバル教育コンクールに

中央大学FLP崎坂ゼミナールが 2年連続受賞!

2013年度にFLP崎坂ゼミのコミュニティ班がグローバル教育コンクールの「写真」部門で佳作を受賞したのに続き、2014年度は災害班が同部門で入選を果たした。

Bangladesh で自然災害に対する意識を研究・調査した災害班が、伝えたかった現状とは――。



■中大杉並高・大塚教諭は 地球ひろば所長賞受賞

中央大学杉並高等学校の大塚圭教諭は、ブータン、カンボジア、タイなどをテーマにした「国際理解教育における3つの種～大きな花を咲かせるために～」が、「グローバル教育取り組み」部門で独立行政法人国際協力機構地球ひろば所長賞を受賞。2013年度には「写真」部門で佳作を受賞している。

右より、審査員として参加した本学文学部の森茂岳雄教授、入選した災害班の角田さん、市川さん、中村さん、同行した中央大学FLP崎坂ゼミナールB砒素汚染研究班の鈴木綾希子さん、大塚教諭

2015年2月8日、大阪市の「ワン・ワールド・フェスティバル」にて国際協力機構(JICA)が主催する「グローバル教育コンクール2014」の表彰式が行われ、「写真」部門に入選した2014年度中央大学FLP崎坂ゼミナールB災害班の市川加奈さん(文3)、中村実央さん(文3)、角田千紗さん(法3)が出席した。当日は賞状授与、審査員からの論評のほか、理事長賞と所長賞を受賞した作品のポスターセッションも行われた。

グローバル教育コンクールは、グローバルな視点を持つ人材育成の一助となるべく、開発途上の実情や国際協力に関心を持つキッカケにな

るような写真、教育活動を表彰。「写真」と「グローバル教育取り組み」の2部門が設けられ、毎年多くの学生や教育従事者、NGO/NPO団体などから作品が集まっている。

FLP崎坂ゼミからの応募では、昨年度にコミュニティ班が佳作を受賞。本年度は災害班が Bangladesh で自然災害に対する障害者の認識を研究・調査した、フォトストーリー「 Bangladesh の障害者と自然災害」が入選を果たした。

授賞式後、現地で訪れた障害者支援施設について、「想像以上にリハビリ機器がそろっていて驚きました」と振り返る市川さん。しかし、定期

的に起こる災害に対して、 Bangladesh の国民は受け身であることもわかったという。「“自然災害はアッラーが起こすものだから私たちは何もすることができない”という回答が多く返ってきました」と中村さん。角田さんは「 Bangladesh の方々には自助努力が必要です。でも、それは日本人にも同じことが言えます。私たちが防災に関心を持って、自分で準備をしないとイケません」と訴える。

災害を災害と捉えていない現地の人々に接したことで、彼女たちの作品には今後の教育の重要性と共助・公助とともに自助を強めてほしいという思いが込められていた。